

## 手引きで対象とする航空機火災の整理について（案）

令和7年12月  
総務省消防庁特殊災害室

# 手引きで対象とする航空機火災の整理について（案）

## 1 基本となる消防活動要領の対象

- 発生地点は空港内とし、航空機の種類は旅客機とする。

### 【消防機関の対応の想定】

空港管理者（空港消防等）と連携した活動が想定される。

#### [消火対応]

空港内においては、空港消防隊による初期の消火対応が期待できることから、消防機関の役割は現場到着後の消火対応から鎮火までを想定。

#### [救助・救急対応]

乗員・乗客の航空機からの脱出は、一義的には乗員の誘導等により行われることから、消防機関の役割は傷病者の救助・救出・搬送を想定。

## 2 他のパターンに関する整理

- その他のパターンに関する参考となる情報等については、「その他の対応」として整理する。

（例）空港外（市街地・海上等）における航空機火災対応の相違点、  
回転翼機の火災 など